

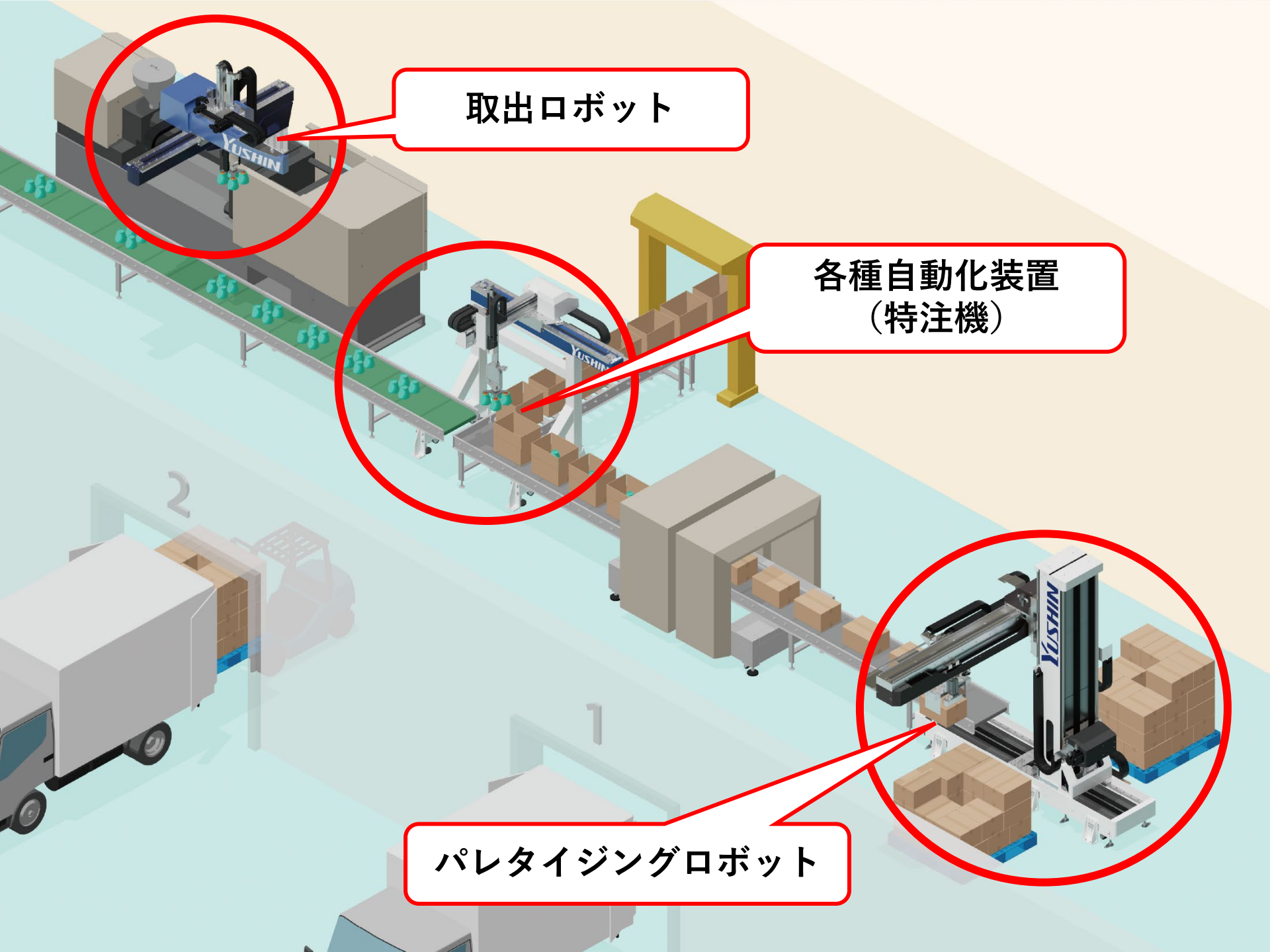
会社説明会資料

YUSHIN

スタンダード市場 証券コード6482

2025年8月1日

YUSHIN株式会社



取出口ロボット

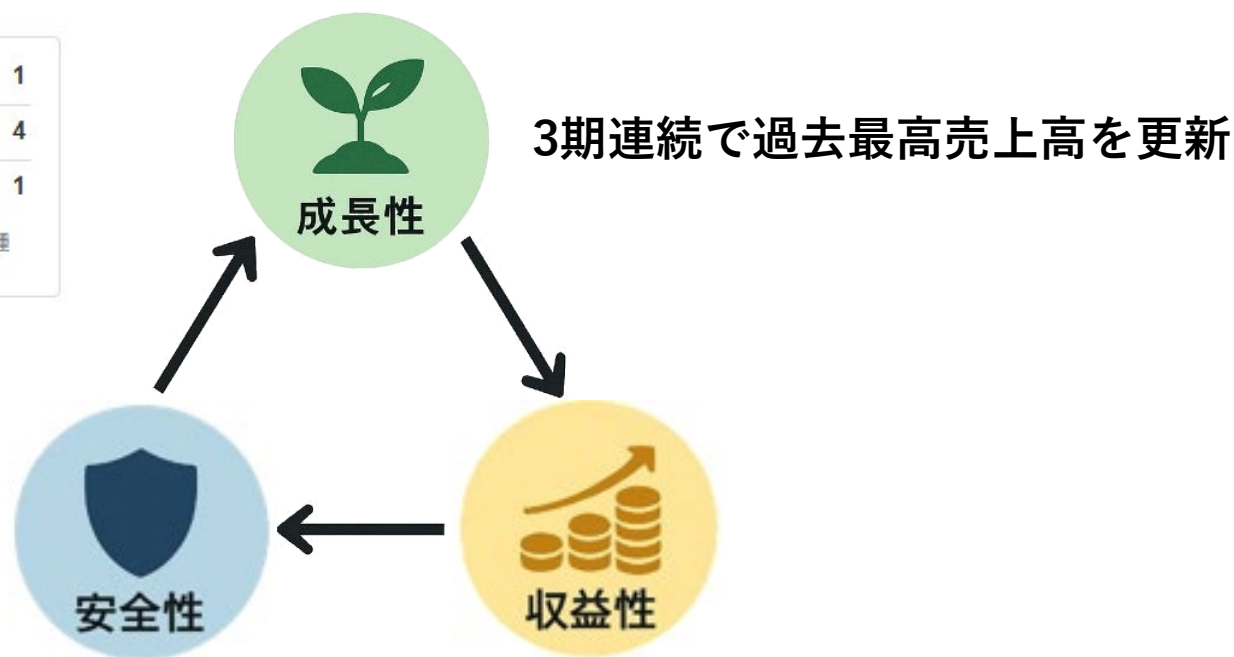
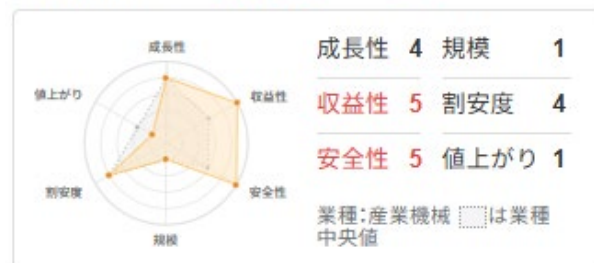
各種自動化装置
(特注機)

パレタイジングロボット

「進歩」と「安心」をお届けしたい。

その思いから、取出口ボットのリーディングカンパニーとして**新しい技術**に挑戦してきました。
グローバルにも積極展開し、**国内最後発メーカー**ながら**世界トップメーカー**に成長しました。

四季報スコア  3



自己資本比率85.5% (2025年3月期)

付加価値の高い商品・サービス

1. 会社概要・事業紹介

2. YUSHINの歴史

3. 直近の業績

4. 中長期経営目標・戦略

5. 株主還元策

社 名 YUSHIN株式会社

代 表 者 代表取締役社長 小谷 高代

設 立 1973年10月

資 本 金 19億8,566万円

社 員 数 816人 (2025年6月末現在、連結)

連結売上高 261億円 (2025年3月期)

事 業 内 容 産業用直交型ロボットを中心に
工場自動化に関連する装置・
システムの開発、製造、販売。

上 場 東証スタンダード市場

証券コード 6482

売 買 単 位 100株



社名の由来

創業者 小谷 進の「信用有る会社でありたい」という思いから
信用が有る ▶▶▶ 有信 ▶▶▶ YUSHIN

2025年4月1日「YUSHIN株式会社」に社名変更
創業者の想いを受け継ぐとともに、**グローバルでのブランド力の向上**を
図り、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を目指します。

社訓

今日も一日、より良くユーザーに尽くし、より多くの信用を得ましょう

創業者のことば

できない無理だ、は出発点

ロボット



取出ロボット（直交型）



取出ロボット（スイング型）



パレタイジングロボット

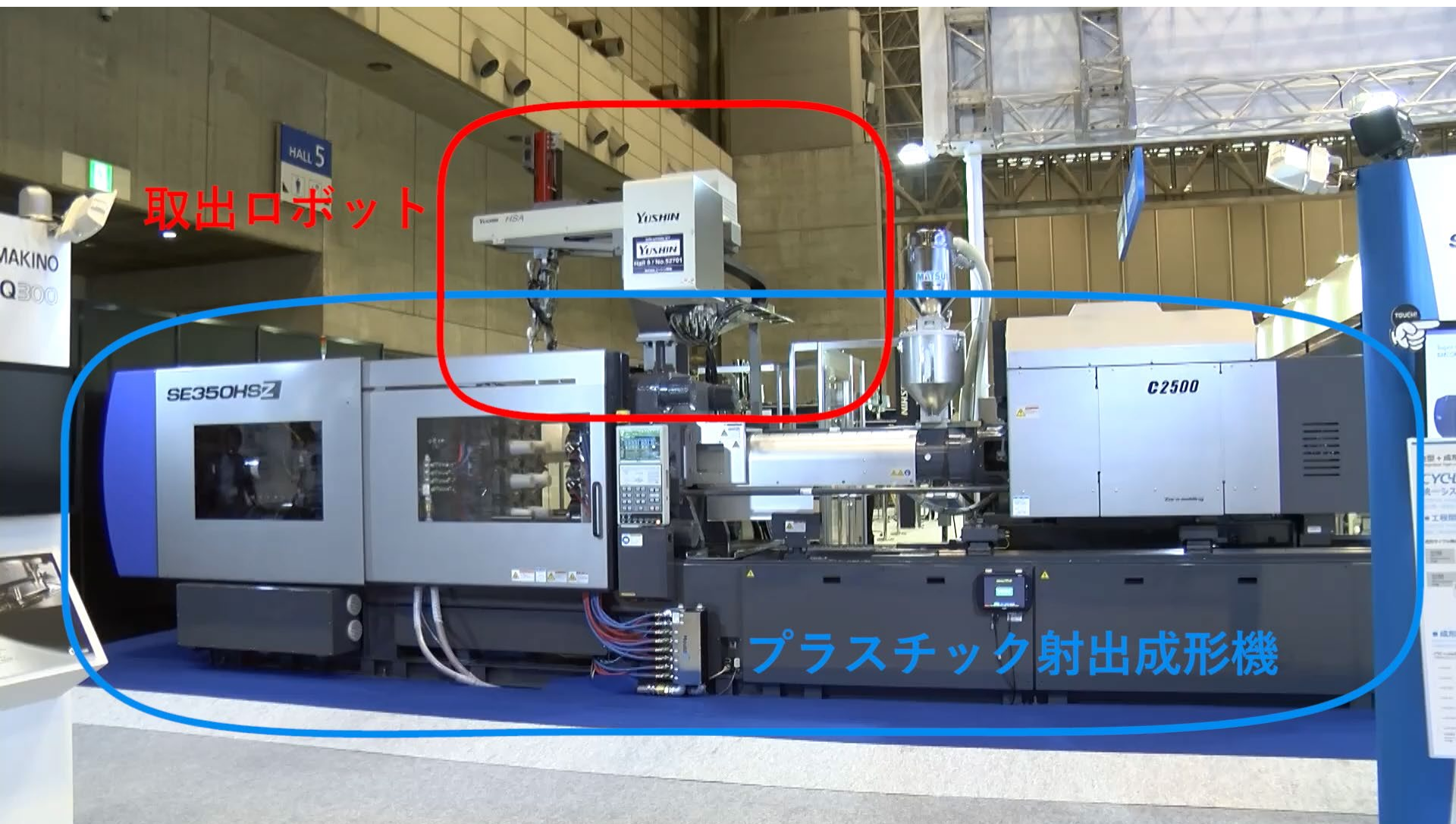
特注機

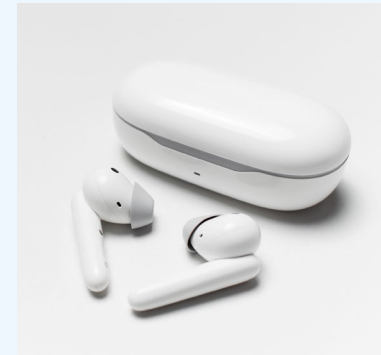


ゲートカットストックシステムなど

部品・保守サービス







世界中のものづくりの製造現場に
生産自動化を支えるYUSHINの技術があります

取出口ボットはなぜ必要か？

01.

労働安全性を上げる



労働災害の危険性が高い職場、
繰り返しの単純手作業が行われる場で
ロボット化が求められる

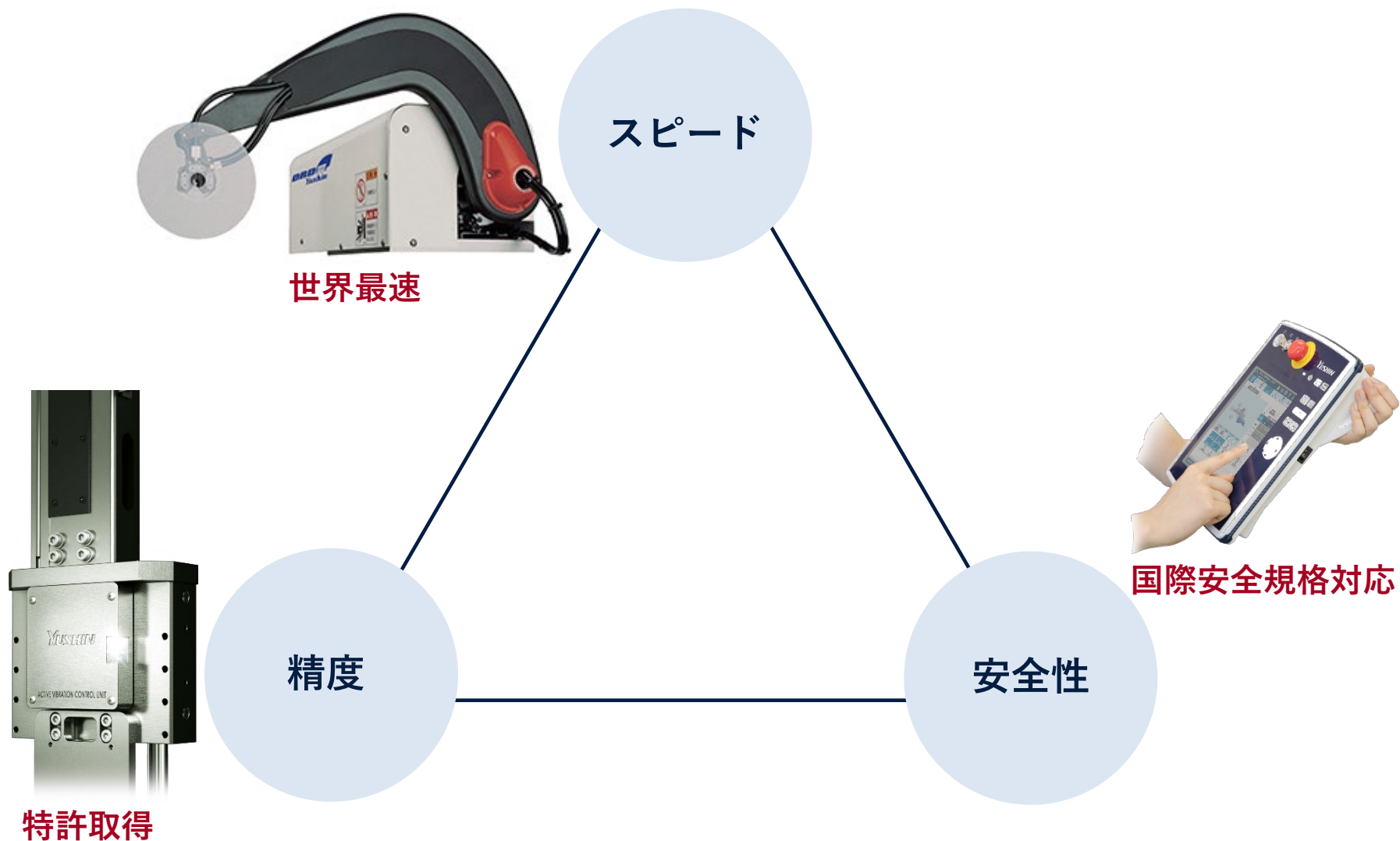
02.

プラスチック成形品
の歩留まり(良品率)
を上げる

03.

射出成形機の
効率を上げる





技術力

- ・ 高速取出し
- ・ 省エネ
- ・ 提案力

幅広いユーザー層

- ・ 多様な販売先業種
- ・ グローバルに展開
- ・ 新業種への進出

人的 資本経営

- ・ 業界トップシェア
- ・ 労働安全
- ・ サポート力

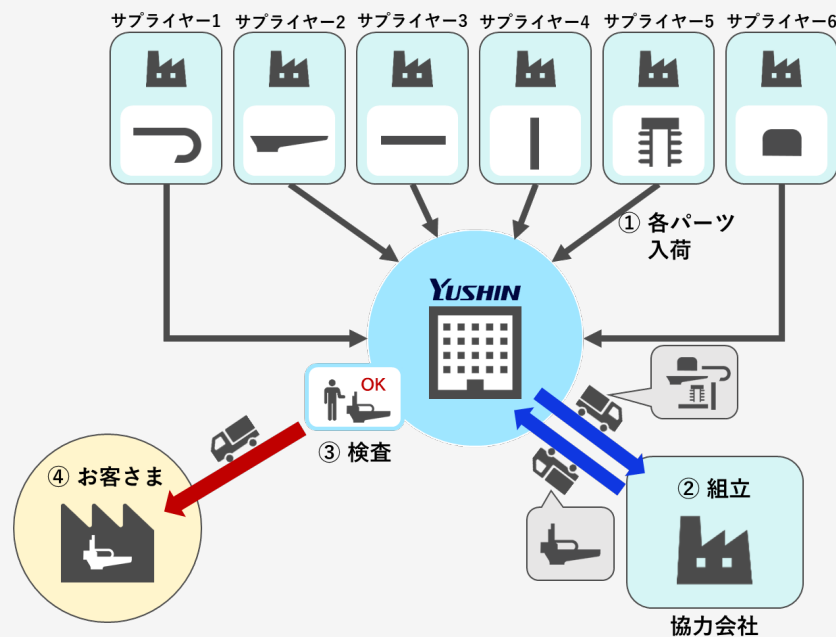
- ・ 強固なバランスシート
- ・ 高い自己資本比率
- ・ ファブライト

信用

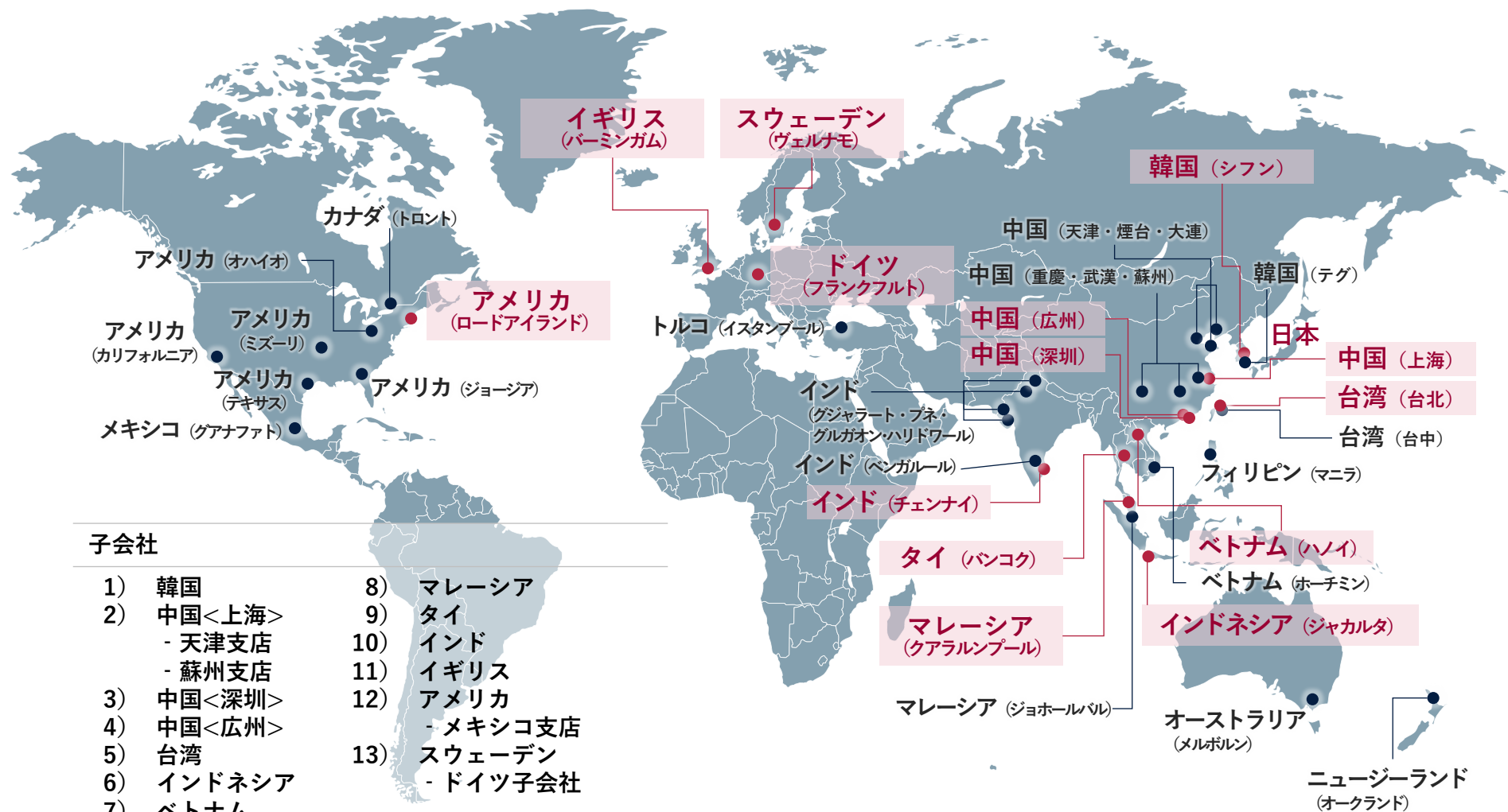
財務体質

ファブライト経営とは

大規模な製造設備を導入して
自社でものづくりのすべてを行
うのではなく、研究開発、設計、
品質管理ほか、一部の生産設備
だけを抱え、そのほかは外部企
業と連携してものづくりを行う



固定費が低いため、**景気の波に強い**



1. 会社概要・事業紹介

2. YUSHINの歴史

3. 直近の業績

4. 中長期経営目標・戦略

5. 株主還元策

- 1971年 ユーシン精機創立
- 1973年 株式会社ユーシン精機設立 (資本金400万円)
- 1978年 業界最後発 取出口ロボット市場へ参入
- 1988年 YUSHIN AMERICA, INC. (アメリカ)設立
- 1989年 取出口ロボットSERVOLINER発売
 - 業界初の全軸サーボモータ駆動
- 1994年 ディスク取出口ロボットDRD発売
 - 世界最速の取出タイム0.15秒
- 1996年 業界初のカラータッチパネル式コントローラ
大証二部に株式上場
- 1999年 東証一部に株式上場 (市場初、大証二部から東証一部へ昇格)
国内シェアトップに
- 2002年 ディスク取出口ロボットDRDIII発売
 - 取出タイム0.069秒、世界最速記録を大幅更新



2010年 京都大学と共同開発した最適設計による取出口ロボットHSAを発売

2012年 「構造最適化技術に基づく高性能射出成形機用取出口ロボットの開発」

日本機械学会賞(技術) <HSAシリーズ>

2013年 優秀省エネルギー機器日本機械工業連合会会長賞 <YCシリーズ>

2016年 現本社工場へ移転

2017年 ハイエンド製品取出口ロボットFRA発売

独自のIoTサービス「INTU LINE」発表

2019年 「アクティブ振動制御装置を搭載した射出成形機用取出口ロボットの開発」

日本機械学会賞(技術) <FRAシリーズ>

レッドドット・デザイン賞2019 <FRAシリーズ>

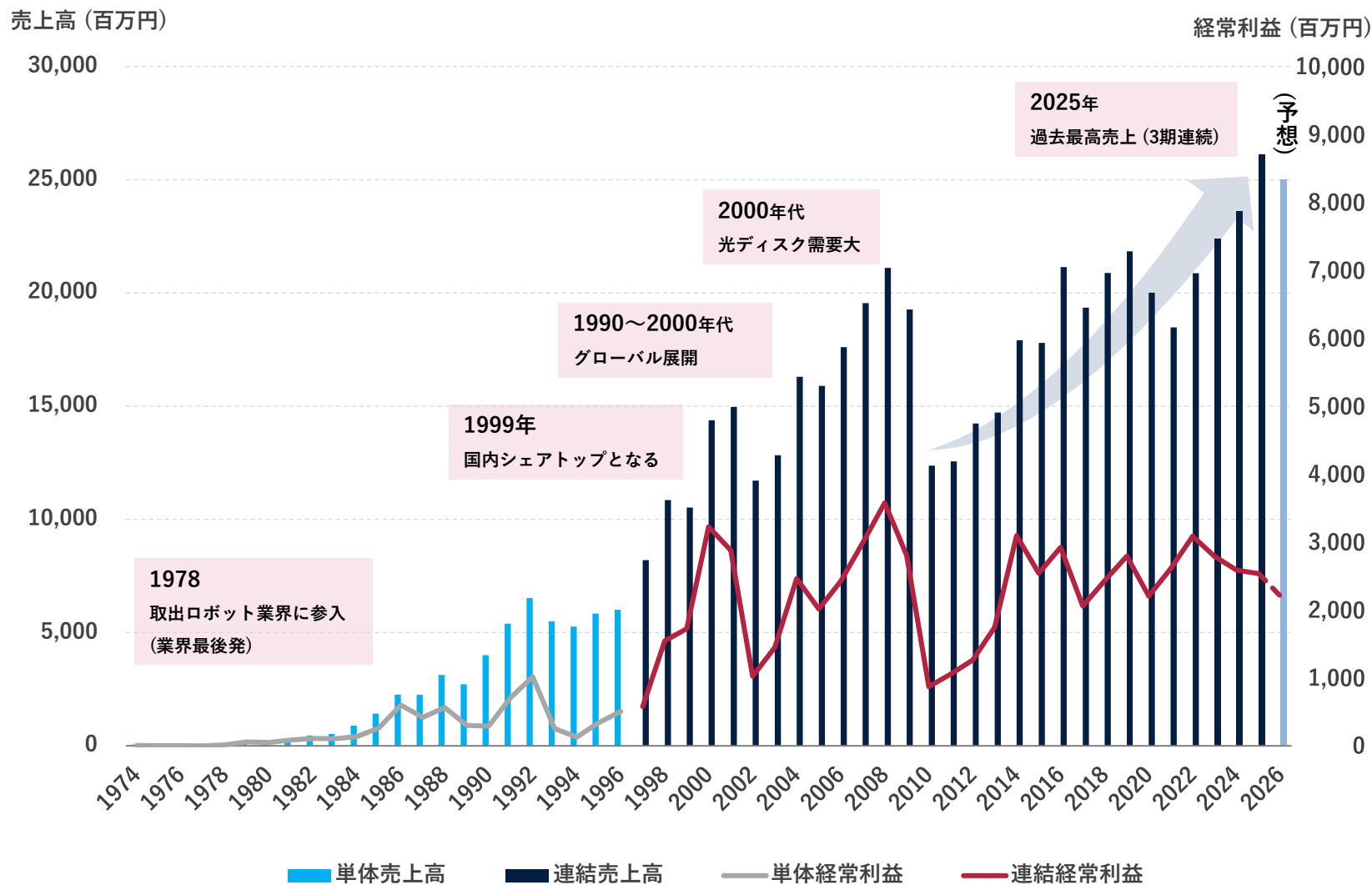
2020年 パレタイジングロボット発売

2023年 WEMO AUTOMATION AB (スウェーデン)の全株式を取得

2025年 「YUSHIN株式会社」に社名変更



reddot design award
winner 2019



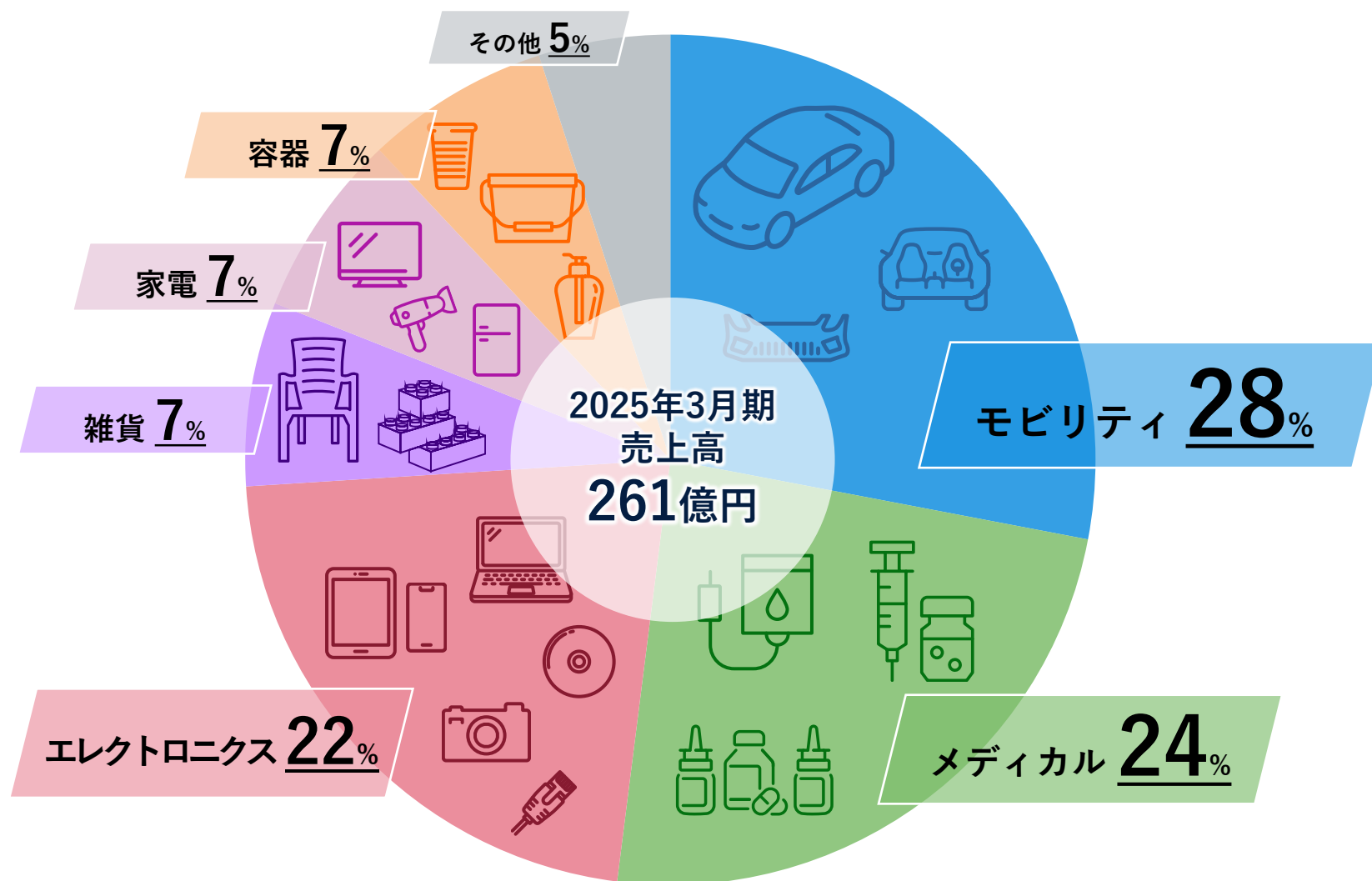
1. 会社概要・事業紹介

2. YUSHINの歴史

3. 直近の業績

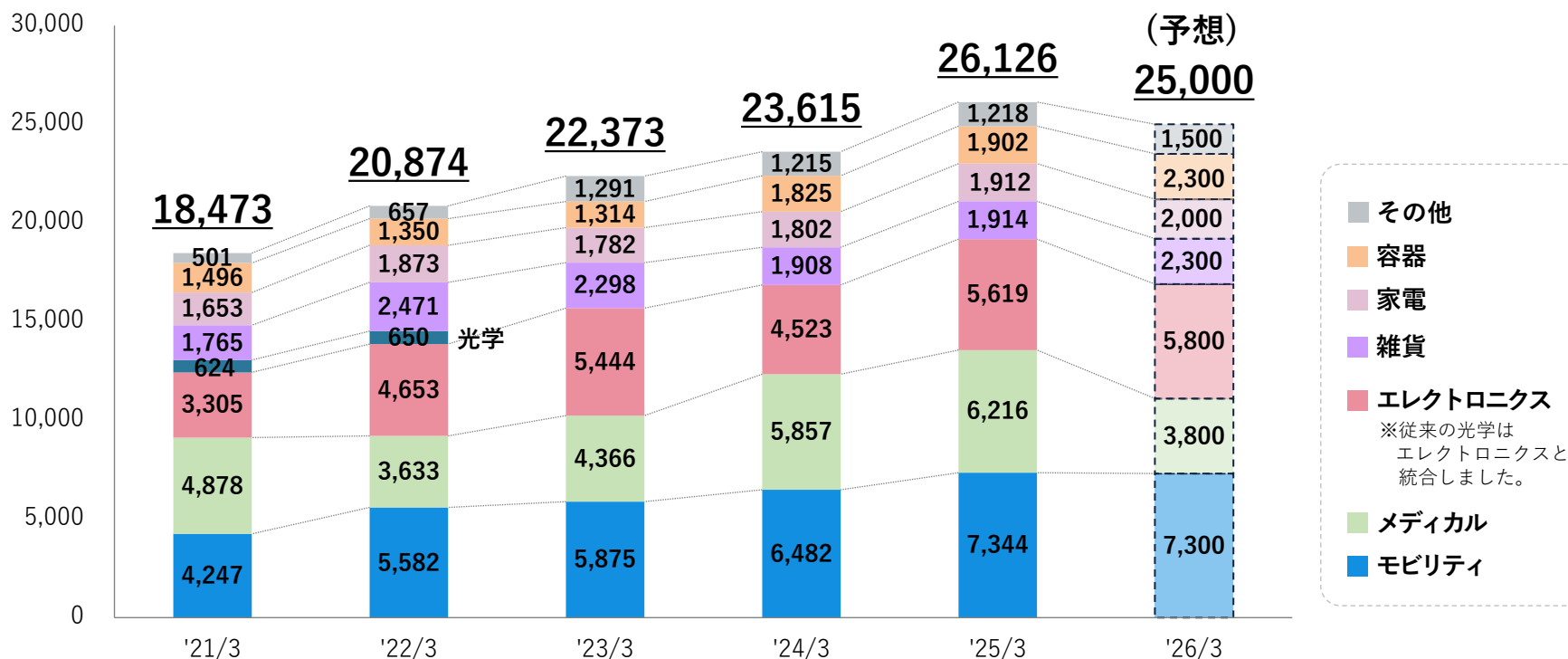
4. 中長期経営目標・戦略

5. 株主還元策



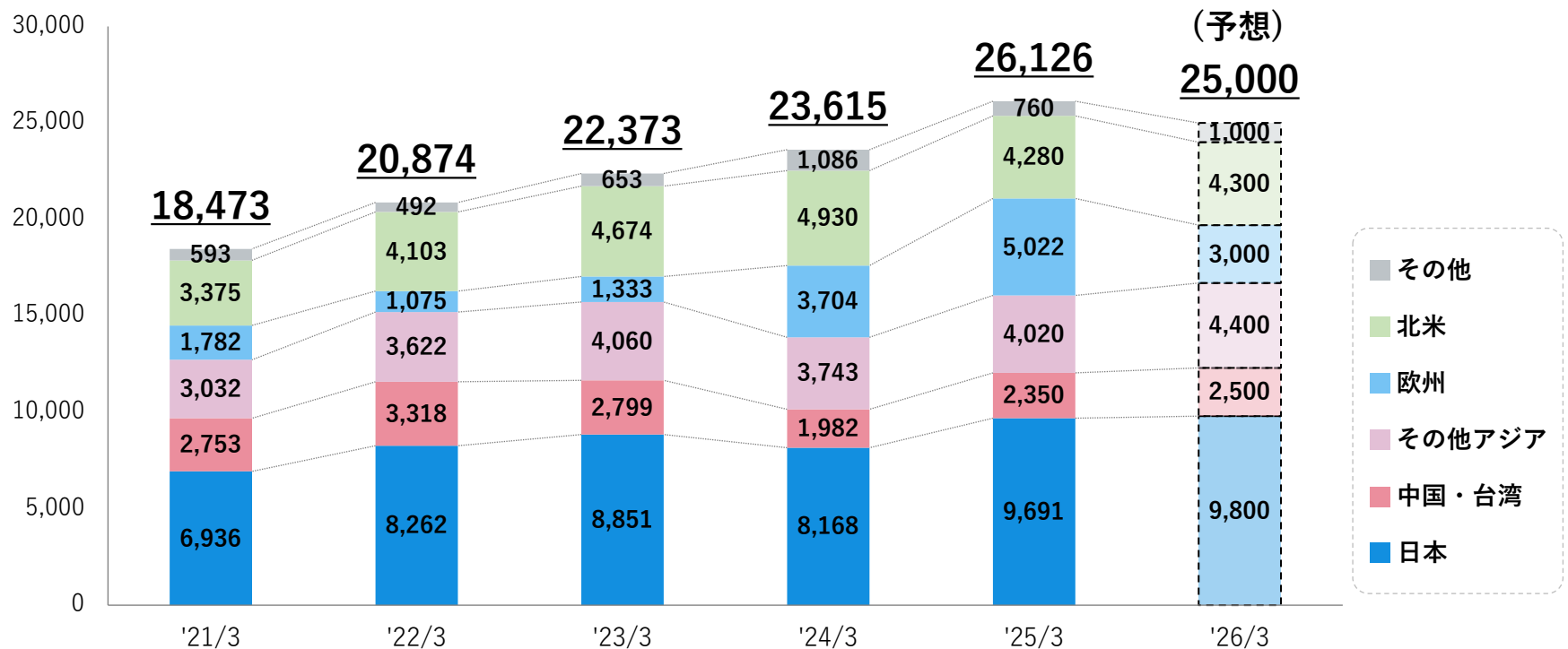
- 多業種展開によるリスク分散
- 近年は**メディカル分野**で取出口ロボットおよび特注機が拡大中
- '26年3月期は、**メディカル関連特注機**の需要が谷間となるものの、**他業種**は堅調

売上高 (百万円)



- 売上の6～7割が海外市場
- 各地域でローカライズを進め顧客ニーズを取り込む
- '26年3月期は、欧米を中心に設備投資需要が不透明

売上高（百万円）



1. 会社概要・事業紹介

2. YUSHINの歴史

3. 直近の業績

4. 中長期経営目標・戦略

5. 株主還元策

経営理念

我社は人間尊重を基本として、
公正かつ健全な「力と知恵と勇気」をもって行動し、
信頼される会社として歩み続けます。
世界に向けて常に革新ある技術を創造し、広く社会に貢献します。
我々仲間は一致協力して社業の発展に尽くし、
心豊かな生活を得ることを目指します。

目指す姿

お客様に喜ばれる商品とサービスを提供し、信頼される会社
事業活動を通し、社会に貢献する会社
やりがいをもって安心して働ける会社

基本方針

お客様を取り巻く社会課題・ 環境変化の解決

サステナビリティ経営の重要課題
(マテリアリティ)として
「労働安全性の強化」、「お客様
工場の生産性向上」、「気候変動
への対応」を設定し社会課題解決
や環境変化の解決に向けた取組み
を進めてまいります。

ステークホルダーの 経済価値創出

自動化機器の提供を通じた顧客企
業の利益創出、サプライヤーとの
双方向のコミュニケーションによ
る共存共栄、株主価値向上等によ
りステークホルダーの経済価値の
向上に取り組んでまいります。

経営基盤の強化

サステナビリティ経営の重要課題
(マテリアリティ)として
「人的資本の強化」、「コーポ
レート・ガバナンスの強化」を設
定し中長期的な成長に向けた基盤
づくりを強力に進めてまいります。

事業戦略

① 次世代を切り拓く 人財投資

- CI浸透
「まず、想いにとどく」
- 教育制度充実
- 価値創造力向上

② グローバル 販売力の強化

- 欧州を中心としたグ
ローバルでのシェア
アップ
- 成長市場に注力

③ 商品力の強化

- 人手不足や環境・安全
への対応
- より高い付加価値を提
供する商品開発を継続

④ 新規事業の開拓

- 射出成形業界以外へ展開
(食品業界など)

経営目標

中期経営目標

連結売上高 (2027年3月期) 300億円
(2025年3月期：261億円)

長期的に目指す経営指標

- ・ **営業利益率 15%以上**
(2025年3月期：9.9%)
- ・ **ROE 8%以上**
(2025年3月期：4.9%)

企業理念の浸透を軸に、 人的資本強化の 取組みを推進

「まず、想いとどく」をコンセプトに
CI・人財育成ポリシーを策定
多様な人財の価値観・考え方を
活かした組織づくり

キャリアのステージに 応じた階層別の 教育制度の充実

技術研修(eラーニングも整備)、
次世代リーダー育成プログラム、
マネジメント研修

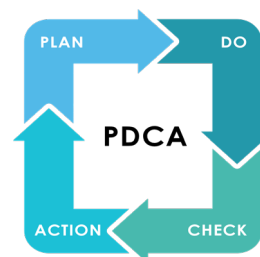
仕事のやりがい・ 働きやすさの向上に 向けた環境づくり

創造性・主体性を持った人財を養う
「イノベーションプロジェクト活動提案制度」



人的資本の強化

- ① コーポレート・アイデンティティ（CI）活動の推進
- ② 理念浸透型の人事制度・人財育成ポリシーの整備
- ③ 人財の多様性の確保、ダイバーシティマネジメント
- ④ キャリアのステージに応じた教育制度の充実
- ⑤ 仕事のやりがい、働きやすさの向上などのための環境づくり



施策強化

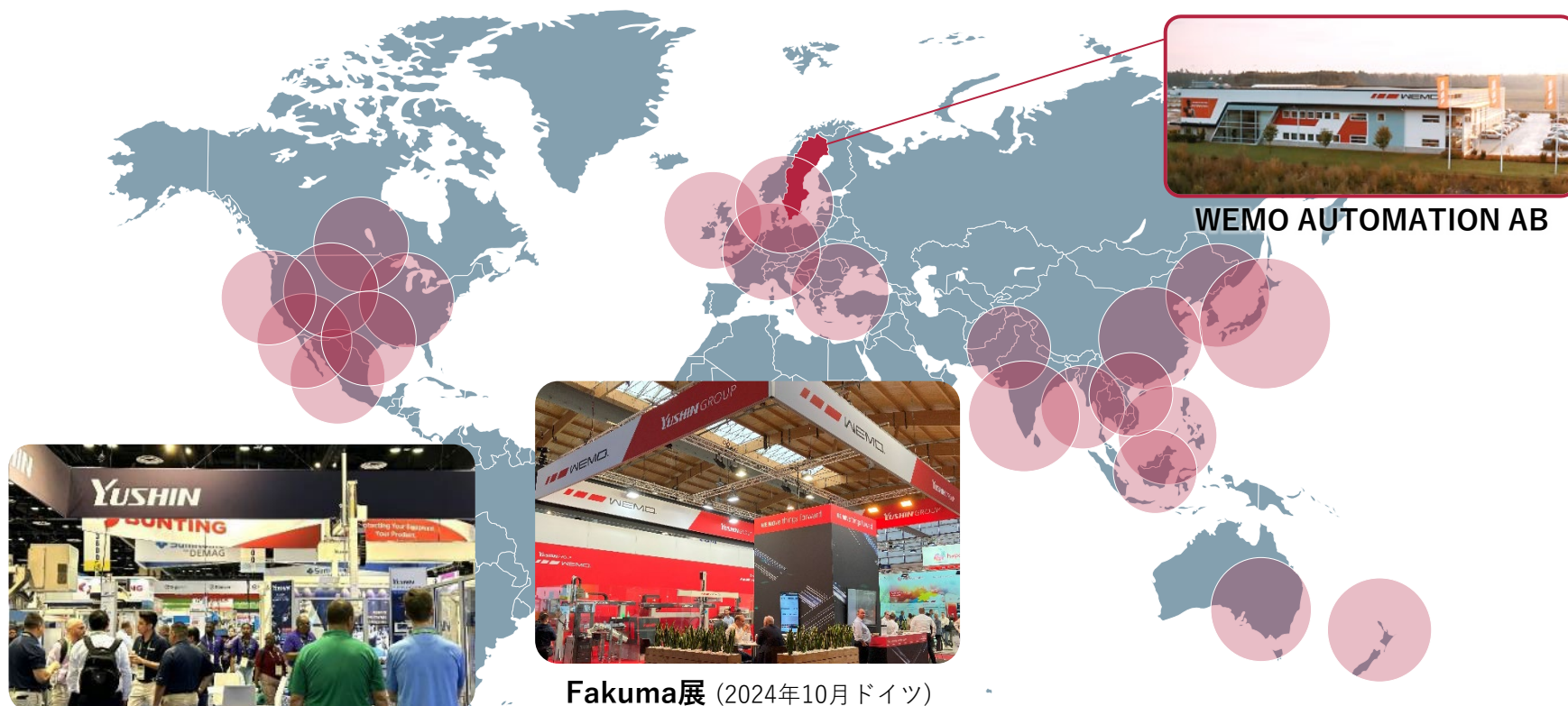
お客様の想いに届き、
社会に貢献する
商品やサービスを
提供する

戦略② グローバル販売力の強化

YUSHIN

的確なマーケット情報の収集による
欧州を中心とした
グローバルでのシェアアップ

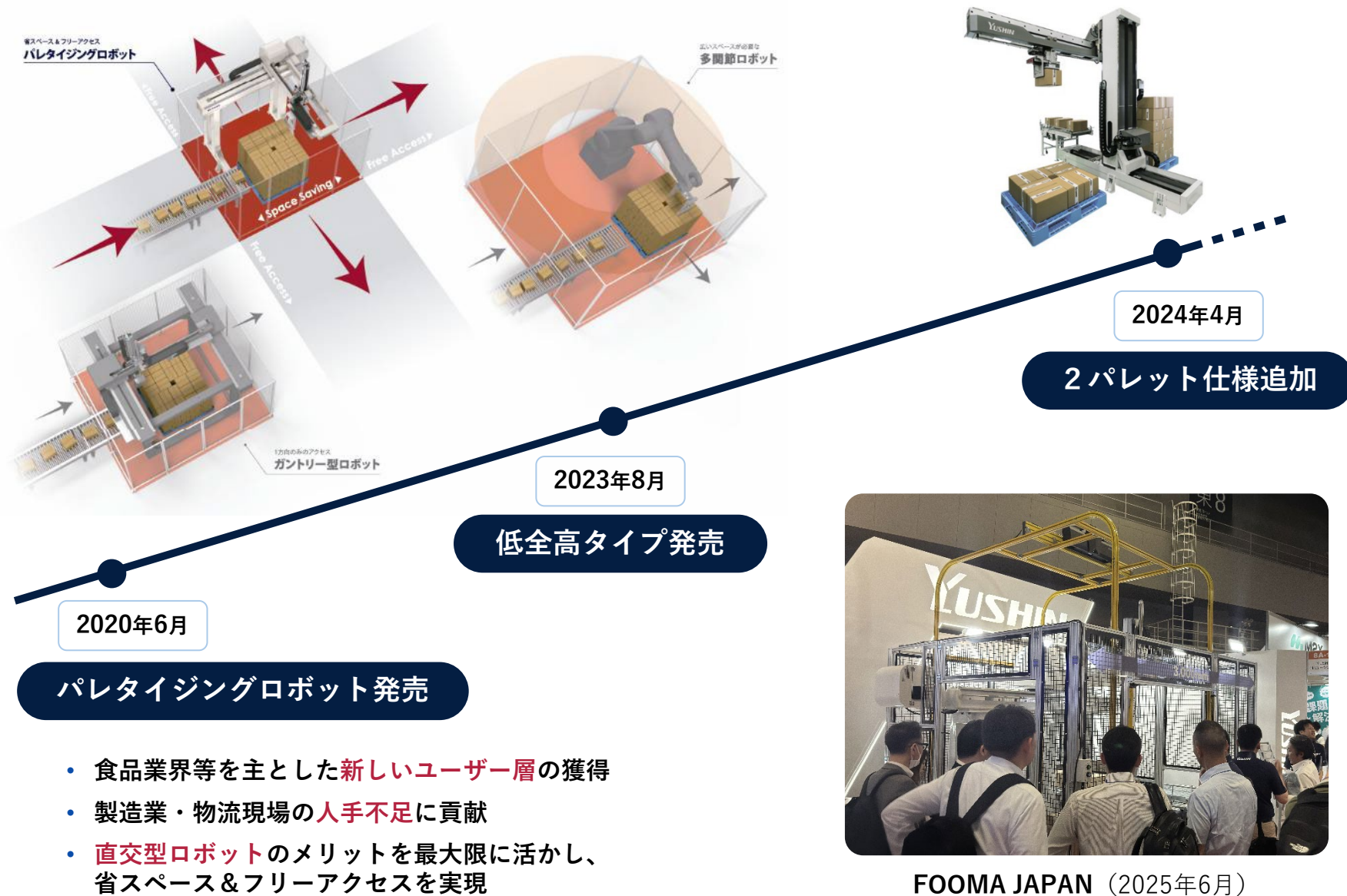
世界各国のトップクラス企業を
ターゲットに



WEMO AUTOMATION AB

NPE展 (2024年5月アメリカフロリダ州)

Fakuma展 (2024年10月ドイツ)



01.

社会課題の
解決に貢献できる
製品・サービス
創出のための戦略投資

02.

長期視点での
持続的成長の
実現に向けた投資

03.

機動的かつ持続的な
投資に備え、強固な
財務基盤を維持しながら、
ステークホルダーの
皆様のご期待に沿える
取組みを推進



キャッシュ
創出

営業CF
70億円

手元資金
95億円



キャッシュ
活用

戦略投資

事業運営資金

株主還元

人的資本投資
次世代成長投資

設備投資・研究開発投資

増販による運転資金の増加

配当（配当性向30%以上）

持続可能な社会の実現と中長期的な企業価値の向上に向けて、
5つのマテリアリティ(重要課題)を特定しています。

事業を通じた社会課題の解決



1. 労働安全性の強化
2. お客様工場の生産性向上
3. 気候変動への対応

< 主な施策 >

- ・安全性能を高めた商品の開発
- ・労働安全に関するスクール実施
- ・高速、高精度なロボットの販売
- ・環境性能を高めた商品の開発
- ・GHG排出量の算出および開示

お客様とともに
目指すSDGs項目



YUSHINグループの持続的成長に向けた経営基盤の強化



4. 人的資本の強化
5. コーポレート・ガバナンスの強化

- ・イノベーションが起こりやすい風土、環境づくり
- ・ライフステージに対応し、継続的に働ける制度づくり
- ・コーポレート・アイデンティティ(CI)の浸透
- ・取締役会の機能強化
- ・指名・報酬委員会の実効性維持
- ・取締役会の実効性評価

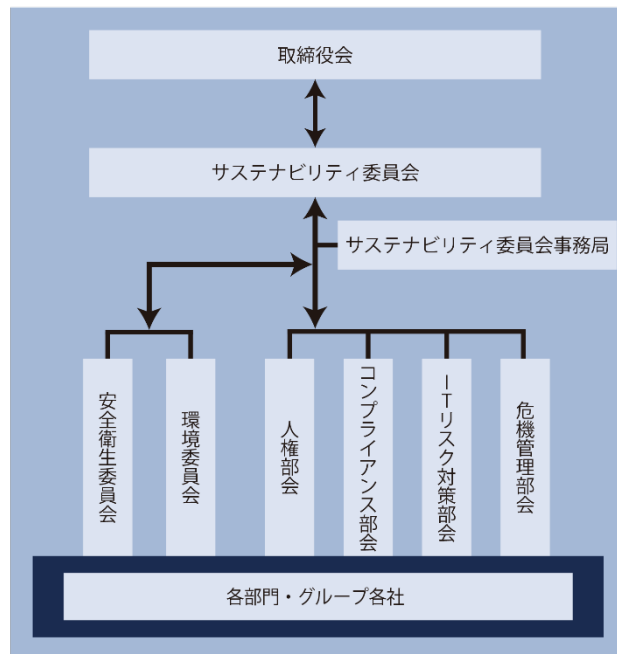
サステナビリティ推進体制の強化

- サステナビリティ委員会と安全衛生委員会、環境委員会との**連携体制**を整理
- サステナビリティ関連の組織横断的なテーマについて**部会**を設置

人権の取組み

- 調達ガイドラインおよび人権に関する質問票を**ターゲット取引先全社に送信**
- 部署向け**人権研修**の実施
- 人権部会**の発足

サステナビリティ推進体制図



部署向け人権研修の様子



関連する社会課題・環境変化

新たな産業の台頭
(例：EV、デジタル産業)

気候変動
→省エネ

製造業の人手不足
→自動化・省力化

ビジネスと人権
→労働環境改善

世界各国の
生活水準向上

YUSHINのアウトプット

ロボット

特注機

部品・保守
サービス

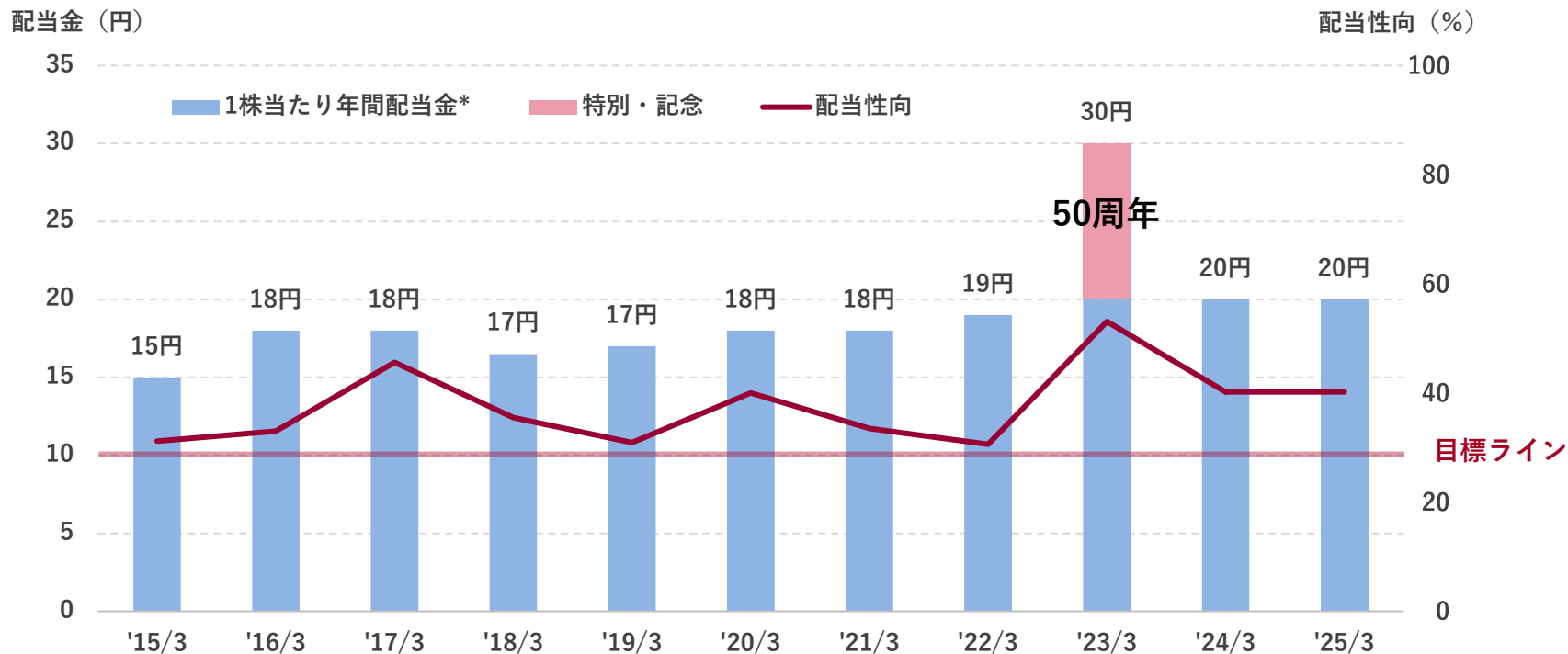
< アウトプットによる社会価値 >

- 「**進歩**」と「**安心**」をお届けする
- 高品質かつ安価な商品の生産サポート
→世界の人々の**生活水準の底上げ**
- **環境保全**への対応

1. 会社概要・事業紹介
2. YUSHINの歴史
3. 直近の業績
4. 中長期経営目標・戦略
- 5. 株主還元策**

配当方針

- 安定的かつ継続的な株主還元を実現するため、**配当性向は30%以上**を目標
- 連結業績の向上により、普通配当水準の引き上げを図る



* 年間配当金は、2018年4月1日付の株式分割(1:2)後ベースに換算したものです。



問い合わせ先：経営企画室

(TEL) 075-933-9555 (E-mail) IRinfo@yushincompany.jp

<https://yushincompany.jp>

IRサイトでは、説明会情報や各種資料を配信しています。

<https://ir.yushincompany.jp/ja/Top.html>

こちらからIRサイトにアクセスいただけます。→



注意事項：

本資料には、業績に関する将来予測の記述が含まれております。これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、実際の業績とは異なる可能性があることにご留意ください。

又、本資料は財務情報、経営情報等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

本資料の転載はご遠慮下さい。